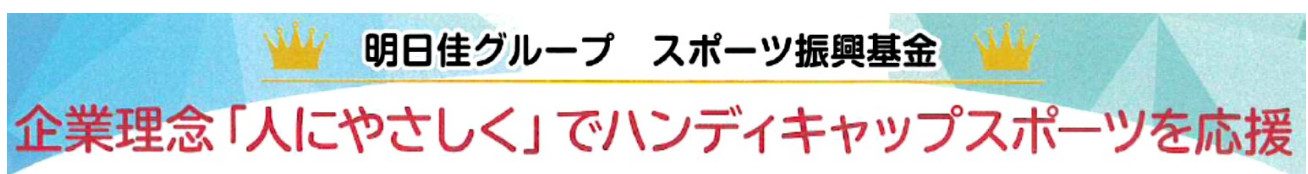


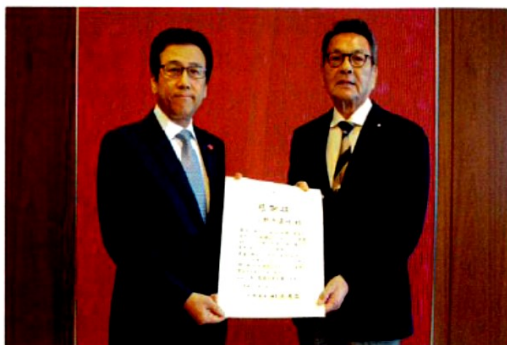
公益財団法人小野寺眞悟障がい者スポーツ振興会 小野寺眞悟理事長の障がい者スポーツ支援の紹介

当法人理事長小野寺眞悟は、障がい者スポーツの振興に幅広く寄与しておりますので、その一端を、札幌市「さぽーとほっと基金」からお知らせいたします。

1 「明日佳グループ スポーツ振興基金」に100万円を追加寄付



小野寺 眞悟 様



明日佳グループ様は、「人にやさしく」を企業理念に、施設を利用される方々やお年寄りの方々を支える医療介護事業、障がいをお持ちの方々に対する就労支援を中心とする福祉事業、そしてフットサルを中心としたスポーツ事業など多岐にわたり活動を行っている企業体です。また障がい者スポーツの発展・向上を目指し、ハンディキャップを持つ方がより良い環境でスポーツに取り組めるようにとの思いから、平成27年度に冠基金「明日佳グループ スポーツ振興基金」を設置いただき、このたび、さらなるご寄付をいただきました。

2 「明日佳グループ スポーツ振興基金」から北海道障害者スキー連盟に50万円を寄付



北海道身障者スキー連盟

「明日佳グループ杯第39回全道ハンディキャップスキー大会」は道内各地より選手が参加し、日頃から鍛えられた練習の成果を存分に発揮し、華麗な技術と力強いレースが繰り広げられ、滑る楽しさと完走の喜びを分かち合い、選手相互の友好を深めることを願って続けています。

【助成金額】

500,000円

明日佳グループスポーツ振興基金

●団体のコメント 本大会は、1980年に故三笠宮寛仁親王殿下のご指導の下に第1回大会を砂川市で開催して以来、地域の人々に受け入れられ支えられながら続けて来た大会で、今回で39回目となりました。これからも、障がい者と健常者が共に作り・共に競い・共に喜びを分かち合う大会として続けていきます。